

Japanese for Young People シリーズについて

【登場人物と場面設定】

アメリカから日本の中学校に留学中の 13 歳のマイク・バード君は、担任の田中先生、同級の加藤君、山本君、木村さん、柔道部の川田先輩などに囲まれて、学校生活を送り、第3巻になるとブラジルからのエテナさんも仲間に加わります。ホームステイ先の加藤家では、お父さん、お母さん、加藤君、そして 5 歳のみどりちゃんと、バード君との日常生活の様子が描かれます。また、アメリカの家族もしばしば話題にのぼります。本シリーズの対象である 10 代の学習者に適した場面が展開します。

【丁寧体と普通体】

先生や友達の父母、先輩との会話、同級生や小さい子どもとの会話を通して、丁寧体と普通体の違いを取り上げています。それは日本の言語・文化のひとつの特色であり、特に日本に滞在する 10 代の場合は普通体に接する機会が多いため、学習の早い段階から紹介しています。しかし、同時に初歩の段階での構文学習を妨げることをないように、普通体で省略される助詞も残す方針をとっています。第1巻の2課から SHORT DIALOGUES の中で理解中心に普通体の会話を導入し、第3巻40課になってから文法事項として整理します。

【表記】

第1巻のはじめから平仮名と片仮名を用いていますが、開始時に仮名のすべてを習得していなくても学習が進められるように、5課まではローマ字を併記しています。学習者は5課終了時には、まず仮名を習得していることが望ましく、6～10課になると、ローマ字の補助は、KEY SENTENCES と VOCABULARY のみ、11～15課では VOCABULARY のみとなります。

また、第2巻、第3巻では漢字学習が加わり、表記も漢字かな交じり総ルビとなります。

***平仮名・片仮名の学習には、副教材 Japanese for Young People I Kana Workbook を、漢字学習には Japanese for Young People II Kanji Workbook および Japanese for Young People III Kanji Workbook をご活用ください。

【学習時間】

初学者の場合、各巻とも約 60 時間(1課に4時間)が目安です。

【語彙】

第1巻では約 450 語、第2巻では約 400 語、第3巻では約 400 語を導入しています。

*尚、Student Book の中でカセットのマークがついている箇所は、別売音声教材に録音されています。

テキスト(Student Book)の構成について

【本課の学習が始まる前に】

第1巻には、各課の学習に入る前に、日本語の発音入門 Sound & Rhythm、日々の挨拶や便利な表現を学べる Useful Expressions の二つの課があります。(詳しい解説は HP 指導書にあります。)

【各課の構成】

◆ KEY SENTENCES

その課の新出文型が示してあります。

◆ EXERCISES

学習者が母語から日本語に訳す過程を経ないで、直接日本語の文が組み立てられるように、イラストのみから構成された EXERCISES です。練習に必要な語彙の導入から、簡単な練習、より複雑な練習へと段階的に進み、無理なく構文力を身につけることができます。

◆ MAIN DIALOGUE / MAIN TEXT

場面、状況がわかるように、冒頭に簡単な英文をつけてあります。会話の流れに沿ったコマまんが式のイラスト、吹き出し内のキーワードを手がかりに、会話の練習が効果的にできるようになっています。

◆ SHORT DIALOGUES

1～2往復程度の短い会話を取り上げています。普通体も学習の早い段階から理解中心に紹介しています。

◆ SUMMARY TABLE

本シリーズは文法を知識として頭のレベルで理解することよりも、イラストを用いた口頭練習に参加する過程で実際に使いこなせるレベルで体得することに重きを置いています。同時に、10代の学習者が求める文法の体系も、必要に応じて表形式で掲載しています。

◆ JAPAN NEWS

日本という国と日本語への理解が深まるように、課によっては、英文コラムの形で、日本の伝統文化から現代日本事情まで、幅広く紹介しています。

◆ TASK

学んだ日本語について、実際場面で運用力を養ったり、また、読解力を高めたりする目的で、課によってタスクを設けています。

◆ QUIZ

課ごとに学んだ語彙や文法事項の定着を確認するために、クイズを設けています。宿題としても活用できます。

【巻末の付録】

各巻の巻末には、Grammar Review(文型、助詞、動詞、形容詞、疑問詞、副詞など、項目ごとに学習事項を整理)、Mini Dictionary(語彙の和英(仮名引き、ローマ字引き)、英和の索引)があります。